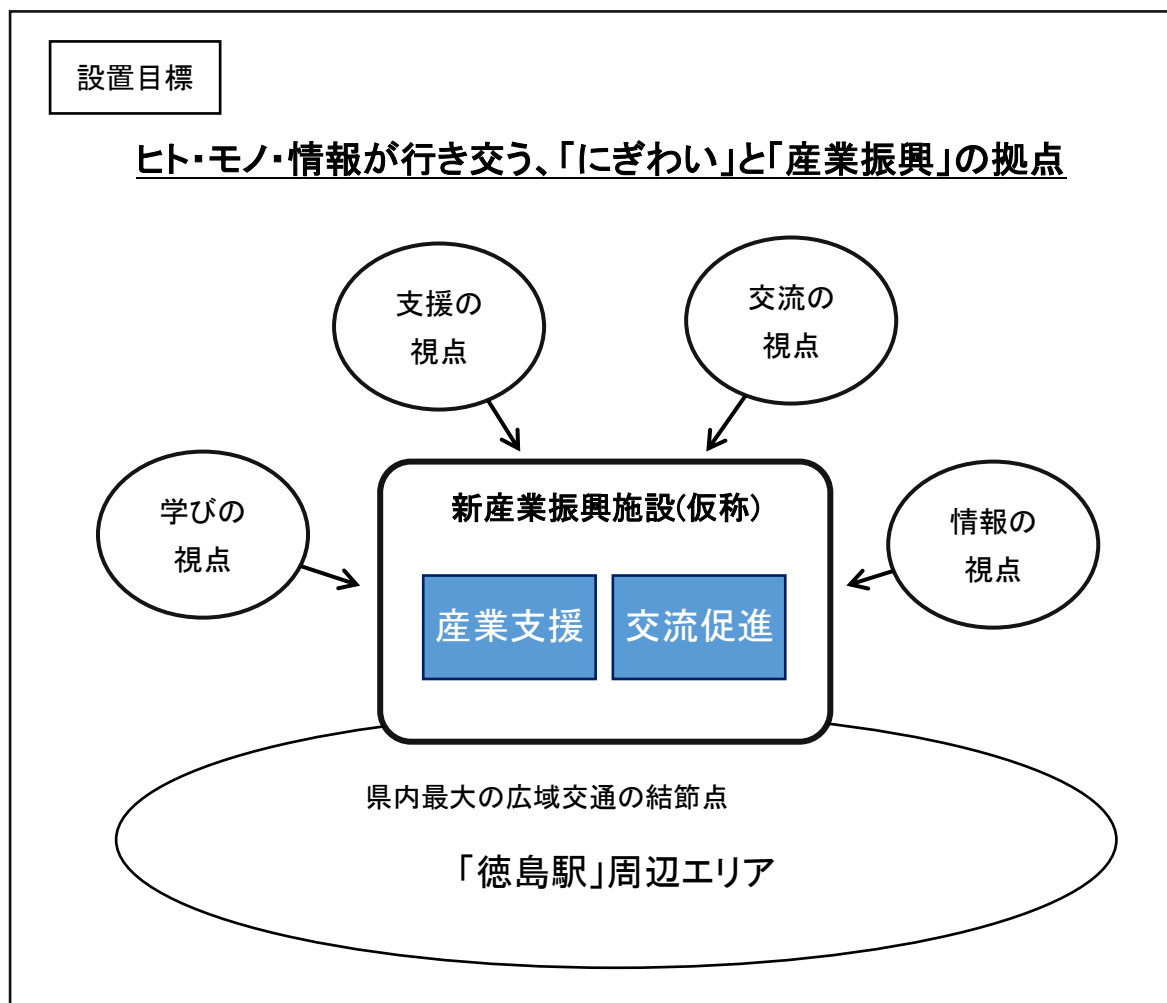


## 徳島市新産業振興施設（仮称）の整備について

## 施設整備

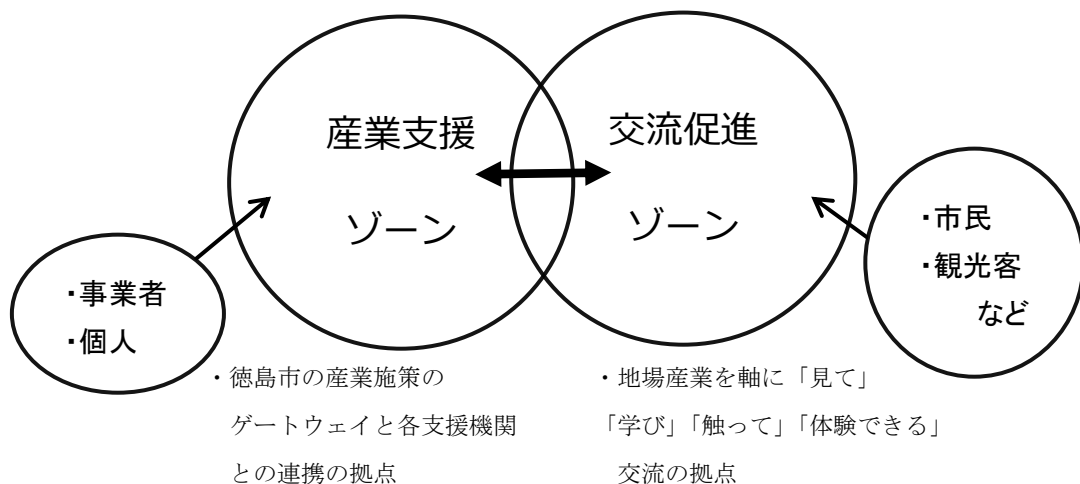
## 1 基本的な考え方

- 新たに整備する施設は、本市の伝統的な地場産業はもとより、総合的に本市の産業を支援するセンターとして、市の中心市街地である徳島駅周辺エリア内に整備し、「産業振興」と「にぎわい」の拠点施設として整備します。
- 「学び・支援・交流・情報」の4つの視点を踏まえ、「産業振興に資する“産業支援”の機能」と「まちのにぎわいづくりに資する“交流促進”の機能」を備えた施設として計画します。



## 2 施設構成

- 施設は、「産業支援ゾーン」と「交流促進ゾーン」で構成します。
  
- 「産業支援ゾーン」は、
  - ・新たに起業をしたい、新しい販路を開拓したい、経営の課題を解決したいといった、個人や企業などを対象とした支援をする場として整備します。
  
  - ・また、起業家、フリーランスの交流の機会の創出やサテライトオフィスとしても活用できるオープンなワーキングスペースゾーンを基本とした計画とします。
  
- 「交流促進ゾーン」は、
  - ・中心市街地という立地条件を活かし、市民や観光旅行者など、行き交う様々な人々に対して、木工や藍染めなど、徳島市の伝統的な地場産業を軸とした情報発信や体験づくりができる場として整備します。
  
  - ・特に、次代を担う若者や県外の方々が、これまで徳島が育んできた製品の価値を再発見する契機となるような施設づくりに配慮します。



### 3 施設計画

#### (1) 産業支援ゾーン

- ・多目的に運用が可能なオープンスペースとして整備します。
- ・オープンスペースは、現在、徳島市の事業として実施している各種セミナーや交流会が可能な規模（30人程度）以上とします。
- ・通常は、ミーティングやオフィスワークなど、自由に使用可能なワーキングスペースとして活用しますが、必要に応じて、セミナールームとしても利用可能な施設とします。



事例：生駒市テレワーク&インキュベーションセンター「イコマド」

- ・オープンスペースがセミナー利用されている時間帯でも、訪れた個人が使用できるワーキングコーナーや各種の相談支援ができるエリアを整備します。



事例：生駒市テレワーク&インキュベーションセンター「イコマド」

- ・地場産業や創業を支援するためのレンタルオフィスを配置します。現在の木工会館に入居している3団体から希望がある場合にも事務室として貸し出しができるよう、4室程度を整備します。
- ・その他、無線LAN、コピー機、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、シュレッダーなどの設備を備えることとします。
- ・徳島市以外の産業支援機関の情報が、ワンストップで収集・伝達ができるよう、掲示板やデジタルサイネージなどを設置します。
- ・整備に際しては、徳島県産の木材や家具を活用することや、中小企業の事業者等が、新しく開発した商品を展示・紹介・販売できるコーナーの設置についても、併せて検討します。

## (2) 交流促進ゾーン

- ・木工や藍染めといった徳島市が誇る伝統的な地場産業の魅力を、次代を担う若者や国内外に伝えるため「ショールーム」と「ものづくり体験」の場を整備します。
- ・「ショールーム」は、商品の展示にとどまらず、産業の歴史的背景（例えば、徳島市の木工業が阿波水軍の軍船修理に携わっていた船大工等を起源とすること）や産品の特徴・魅力（例えば、藍染めには、留紺・青藍・花浅葱・浅縹など、多様な色彩美があること）など、モノにまつわる「学びの場」としての機能も併せ持つものとします。
- ・併せて、ホームページの活用など、多元的に徳島市が誇る地場産品や伝統技術を、国内外に広く発信していきます。



- ・「ものづくり体験」の場を整備します。  
このことにより、木工や藍染め等の地場産品を「見て」「学び」「触れて」「体験する」という流れを創出します。

(観光旅行者の「コト消費につながるものづくり体験」の例)

- ・ 遊山箱の絵付け体験
- ・ 藍染めブックカバーの抜染技法によるデザイン体験 など

#### 4 施設規模

- 施設全体の想定規模は、300平方メートル程度を目標とし、各施設機能別の想定規模は下表のとおりです。

区分	施設機能・内容	想定規模
産業支援 ゾーン	多目的オープンスペース (セミナー 30人以上)(コワーキング・相談室)	150㎡程度
	レンタルルーム(4室程度)	
交流促進 ゾーン	ショールーム	120㎡程度
	ものづくり体験	
管理・共用	エントランス・管理事務室・倉庫	30㎡程度
合 計		300㎡程度

- ・ 徳島駅近くという立地条件から、災害時の帰宅困難者等の受入れを想定し、毛布などの災害備蓄品も装備します。